

令和 7 年度 岐阜県地域森林監理士 養成研修シラバス

令和 7 年 5 月

岐阜県立森林文化アカデミー

目 次

シラバス番号	大分類	小分類	研修項目
1	一般知識	経 済	国外情勢
2		政策・施策	国政策
3			県政策
4		倫理・法令等	倫理・法令等
5	専門知識	計画・経営	森林計画
6			森林経営管理制度
7			林業経営
8			路網整備
9		環 境	防 災
10			更 新
11			野生動物管理
12		木材利用 木材流通	木材利用
13			バイオマス利用
14			木材流通
15	実技	その他	地域課題研修

1 国外情勢

大分類	一般知識
小分類	経済
内容	国外の林業・木材産業等情勢
実施方法	講義
時間数	1.0 h
講師等	岐阜県林政部 県産材流通課 職員
ねらい	森林・林業白書等を使用し、海外の林業・木材産業動向に関する基本的な知識に基づき、県内林業・木材産業との関連性、影響(メリット・デメリット)をイメージできる人材を育成する。
到達目標	1. 国外における林業・木材産業等に関する基礎的な知識や関連情報を整理し、自身の地域との比較衡量により、地域の課題を正確に把握する能力を身に着ける。
内容	1. 森林・林業白書等に掲載された国内外の木材需給や先進事例(トピックス)、岐阜県の木材輸出に関する情報の提供および解説
備考	

2 国政策

大分類	一般知識
小分類	政策・施策
内容	国政策
実施方法	講義
時間数	2.0 h
講師等	林野庁中部森林管理局 岐阜森林管理署 職員
ねらい	森林・林業等に関する国の政策・施策体系を知る。
到達目標	1. 森林・林業白書の内容を理解している。 2. 森林・林業に関する国の政策体系を理解している。 3. 森林・林業の課題に対応した国の具体的な政策を理解している。
内容	1. 森林・林業の課題に対応した国の具体的な政策・施策を解説 2. 国政策・施策等に関する意見交換
備考	

3 県政策

大分類	一般知識
小分類	政策・施策
内容	岐阜県森林づくり基本計画及び県の主要施策（森林・林業）
実施方法	講義
時間数	2.0 h
講師等	岐阜県林政部 林政課 職員 岐阜県林政部 森林活用推進課 職員
ねらい	岐阜県森林づくり基本計画及び関係する県の施策を知る。
到達目標	1. 岐阜県森林づくり基本計画の内容を理解し、県民へ説明できる。 2. 地域での課題対応に活用できる県施策を選択することができる。 3. 担当窓口を林業事業体や森林所有者等へ伝えることができる。
内容	1. 第4期岐阜県森林づくり基本計画についての解説 2. 県の主要施策等について 3. 県の森林サービス産業・Gクレジット、木育についての解説
備考	

4 倫理・法令等

大分類	一般知識
小分類	倫理・法令等
内容	倫理、関係法令
実施方法	講義・演習
時間数	3.0 h
講師等	民間コンサルタント等
ねらい	岐阜県地域森林監理士の倫理、労働安全に関する関係法令について理解し、市町村担当者と一体となり、市町村森林・林業業務の一部を実施することが出来る人材、また労働安全について事業体等へ指導・助言を行う人材を育成する。
到達目標	1. 岐阜県地域森林監理士の倫理、行政機関、林業事業体や地域住民からの信頼を損なうような言動をしないことなどを意識し業務に当たることができる。 2. 業務に関連する法令等について基本的な知識を理解し、慎重に取り扱うことができる。 3. 林業における労働安全について事業体等に対し指導・助言ができる知識を身に付ける。
内容	1. 林業の安全について 2. 労働安全法令について 3. リスクアセスメントについて
備考	

5 森林計画

大分類	専門知識
小分類	計画・経営
内容	森林計画制度、市町村森林整備計画
実施方法	講義
時間数	4.5h
講師等	岐阜県林政課 林政課 職員 市町村実務担当者 等
ねらい	市町村森林整備計画を作成するために必要な知識を身に付け、地域性を反映させたより良い計画を構想する手法を考える。
到達目標	1. 森林計画制度や森林情報の活用等、市町村森林整備計画に関する基本的な事柄を知っている。 2. 全国には特徴ある市町村森林整備計画があることを知っている。 3. 地域性を反映させたより良い市町村森林整備計画を作るにはどうすれば良いかを考えられる。
内容	1. 森林計画制度、森林法令、森林情報の活用の説明等 【市町村森林整備計画、伐採及び伐採後の造林届出等制度、森林の土地の所有者届出制度、林地開発許可制度、保安林制度、林地台帳の整備及び運用、森林GISの活用】 2. 特徴ある市町村森林整備計画の事例紹介、解説 3. 森づくりに関わる構想作成について
備考	

6 森林経営管理制度

大分類	専門知識
小分類	計画・経営
内容	森林環境譲与税、森林経営管理制度
実施方法	講義
時間数	森林環境譲与税、森林経営管理制度:3.0h (市町村職員研修会 5.0h)
講師等	岐阜県林政部 森林活用推進課 職員 地域森林管理支援センター 相談員等
ねらい	森林環境譲与税の使途に関する考え方を理解して、市町村が森林経営管理法に基づく森林整備の推進を行うために必要な知識を身に付け、地域性を反映させたより良い方策を考え、提案できるスキルを身につける。
到達目標	1. 森林環境譲与税に関する基本的な事柄を知っている。 2. 森林環境譲与税の活用使途に関する基本的な事柄を知っている。 3. 全国には森林環境譲与税を活用した特徴ある取組を行っている市町村があることを知っている。 4. 森林経営管理制度(森林経営管理法)に関する基本的な事柄を知っている。
内容	1. 森林環境譲与税の概要、使途の説明、活用事例の紹介 2. 森林経営管理制度の概要、進め方(経営管理意向調査・経営管理権集積計画・経営管理実施権配分計画等 3. 市町村巡回における市町村が抱える地域課題とその支援 4. 地域課題に応じた森林経営管理制度を活用した森林整備の推進
備考	

7 林業経営

大分類	専門知識
小分類	計画・経営
内容	森林経営計画制度
実施方法	講義
時間数	3.5 h
講師等	岐阜県林政部 森林経営課 職員 林業経営者(林業事業体)
ねらい	市町村森林整備計画に基づいた、地域が主体となった持続可能な森林づくりに必要な林業経営の知識を身に付ける。
到達目標	1. 木材の需要先、利用方法を考慮したうえでの目標林型を理解し、中長期的な観点からの林業経営を提案することが出来る。 2. 各種補助制度及び、森林認証制度、森林セラピー、山菜取り等、森林の多面的機能の活用法の事例を知っており、農山村振興にも資する林業経営を提案することが出来る。
内容	1. 林業経営のための森林経営計画制度、境界明確化・施業集約化について 2. 伐採・造林の実務、森林整備事業等の各種補助制度について 3. 木材の需要先、利用方法を考慮した森林経営計画に基づく中長期的な林業経営について
備考	

8 路網整備

大分類	専門知識
小分類	計画・経営
内容	地域特性を考慮した路網整備
実施方法	講義
時間数	6.0h
講師等	岐阜県森林研究所 職員
ねらい	複雑で脆弱な地形や地質が混在する岐阜県において、その特性を理解し路網を配置するスキルを身に付ける。
到達目標	1. 岐阜県の地形と地質の特性を理解している。 2. 各種地図と現地指標から崩壊危険地を判断する方法を理解している。 3. 地形、地質を考慮した壊れにくい路網整備の考え方を理解している。
内容	1. 各種地図や植生などの現地指標から岐阜県の地形の特性を理解する。 2. 地質図や現地情報などから岐阜県の地質の特性を理解する。 3. 岐阜県の地形や地質の特性を理解した上で、その特性を考慮した路網整備の考え方を理解する。
備考	「9 防災」の知識も必要とするため、講義はセットで受講すること。

9 防災

大分類	専門知識
小分類	環境
内容	森林が有する保全・減災機能を考慮した森林管理
実施方法	現地視察
時間数	6.0h
講師等	岐阜県森林研究所 職員
ねらい	地域で活躍する人材として、林業と国土保全を両立させるために必要な山地災害リスクを考慮した森林管理に関するスキルを身に付ける。
到達目標	1. 山地災害リスクの評価に必要な知識を理解している。 2. 山地災害リスクを考慮した森林管理の考え方を理解している。
内容	1. 森林管理における山地災害リスク評価の必要性を理解する。 2. 山地災害リスクの評価に必要な情報(各種資料、現地指標)を理解する。 3. 山地災害リスクを考慮した森林管理の考え方を理解する。
備考	「7 路網整備」の科目に必要な知識であるため、セットで受講すること。

10 更新

大分類	専門知識
小分類	環境
内容	低コスト造林、育種、天然更新、造林技術
実施方法	講義
時間数	6.0h
講師等	岐阜県立森林文化アカデミー 教員 岐阜県立森林文化アカデミー 森林技術開発・支援センター 職員 民間(造林技術等の研究所)
ねらい	人工更新・天然更新に関する知識及び技術を身に付ける。 多様な森林施業を実施するための基本的な知見を身に付ける。
到達目標	1. 皆伐後の更新に必要な知識を有している。 2. 人工更新の低コスト化の技術を知っている。 3. 天然更新の考え方と技術を知っている。 4. 更新方法を選択するための考え方を理解している。
内容	1. 更新に関する基礎知識 2. 種苗に関する法令、種苗の産地、系統に関する事項 3. 造林基礎（概論、コンテナ苗を用いた造林） 4. 針葉樹人工林の混交林化・広葉樹林化の技術 5. 更新に関する質疑応答・情報交換
備考	

1 1 野生動物管理

大分類	専門知識
小分類	環境
内容	生態系、管理、法規・施策、獣害対策
実施方法	講義、現地視察、DVD 及び資料による学習
時間数	10.0h
講師等	岐阜大学 応用生物科学部 教員 岐阜県林政部 森林経営課 職員 岐阜県環境生活部 環境生活政策課 職員 林野庁中部森林管理局 岐阜森林管理署 職員
ねらい	野生動物管理は、森林生態系を構成する重要な要素として認識する。 野生動物管理についての知識・技術を習得し、森林施業に反映できる。
到達目標	1. 野生動物管理を踏まえて森林施業を理解している。 2. 野生動物の生態及び森林生態系に関する知識を有している。 3. 野生動物の被害から効果的な対策方法を理解している。
内容	1. 森林生態系に関する知識 2. 野生動物管理に関する基本的概念 3. 野生動物に関する関連法規・補助制度 4. 野生動物の被害・防除・モニタリングに関する基礎知識・モニタリングから見た分布や管理目標 5. 野生動物の捕獲について 6. 現地研修
備考	

1 2 木材利用

大分類	専門知識
小分類	木材利用・木材流通
内容	マテリアル(建築)
実施方法	現地視察、DVD 及び資料による学習
時間数	5.0h
講師等	民間実務者等 岐阜県立森林文化アカデミー 教員
ねらい	建築における木材利用を知り、今後の森林計画（生産計画）へ反映できる知識を身に付ける。
到達目標	1. 木造建築の構法を理解している。 2. 木質建材を理解している。 3. 認証材について理解している。 4. 木質建材に適した森林計画（生産計画）を作成できる。
内容	1. 木造建築や木質建材のキーマンを知る 2. 木造建築の構法に関する知識 3. 木質建材、木質材料、エンジニアードウッドに関する知識 4. 軸材料、面材料に関する知識 5. 建築で利用される木材の長さや断面、木材強度に関する知識 6. 認証材（FSC、PEFC、JAS、ぎふ証明材、ぎふ性能表示材等）について 7. 建築から求められる木材について
備考	

1 3 バイオマス利用

大分類	専門知識
小分類	木材利用・木材流通
内容	マテリアル(エネルギー)
実施方法	講義、現地視察
時間数	5.0h
講師等	民間(コンサルタント・バイオマス関連企業) 岐阜県林政部 森林経営課 職員
ねらい	木材のエネルギー利用の状況を知り、木材の供給側だけでなく地産地消の取り組み等、地域の森林づくりへ反映できる知識を身に付ける。
到達目標	1. 循環可能な地域資源としての木質バイオマスのエネルギー利用について理解している。 2. 木質バイオマスの生産、流通と森林・林業との関係について理解している。 3. 木質バイオマスエネルギー利用の事例を理解しており、熱需要や木質バイオマス供給についての考え方などを地元の地域に応用することができる。
内容	1. 地域と木質バイオマスエネルギー利用の関係について 2. 木質バイオマスの生産、流通の状況について 3. 木質バイオマスエネルギー利用の事例について ・最新動向について ・薪、チップ、ペレットでの利用について ・発電利用、熱利用について 4. 県内の木質バイオマス関連事業に関する情報提供について 5. 県内の事例紹介等(チップ生産、薪ビジネスなど)
備考	

1 4 木材流通

大分類	専門知識
小分類	木材利用・木材流通
内容	木材流通(マーケット)
実施方法	現地視察、DVD 及び資料による学習
時間数	12.0h
講師等	岐阜県森林研究所 職員 民間実務者等
ねらい	地域の森林資源をより有効に利用・活用するため、木材加工・流通の基礎知識や、地域の木材流通市場を調査するマーケット・リサーチに関する知識を身に付ける。
到達目標	1. マーケットインとプロダクトアウトの両輪の必要性を理解している。 2. マーケット・リサーチを理解している。 3. 地域の製材機械、乾燥機械、プレカット機械について理解している。
内容	1. 木材流通マーケット 2. 木材流通事例 3. 製材機械、乾燥機械、プレカット機械について 4. 機械の視察(木材加工機械調査実習含む) ・製材工場等 5. 木材流通の視察 ・卸問屋や製品市場等
備考	

15 地域課題研修

大分類	実技
小分類	その他
内容	地域固有の課題解決に向けた研修(自主企画)
実施方法	講義、意見交換、政策提案
時間数 ※目安	16.5h
講師等	岐阜県立森林文化アカデミー 教員 岐阜県林政部 林業普及指導員 民間企業の担当者
ねらい	自身の専門領域に加え、自然、社会、人間を多面的、俯瞰的視点から課題発見・解決が出来る横断型人材を育成する。
到達目標	1. 地域森林監理士のあるべき姿や特有の役割について理解する。 2. 地域の課題を正確に把握し、体系的に整理する能力を身に着ける。 3. 整理された地域固有の課題とその解決策について提案書等を作成し、地元市町村や岐阜県等に対して政策提案する。 4. 課題研修の企画立案、実行を通じて、プロジェクトマネジメント力を高めるとともに、個人、あるいは組織に留まらない、幅広く多様な人的ネットワークを構築する。
内容	1. 地域森林監理士としての心構えや役割について 2. 地域森林監理士の実際の仕事の紹介 3. 各研修生の地域課題テーマの発表、研修参加者相互の意見交換等 4. 政策提案の中間発表、研修参加者相互の意見交換等 5. プレゼン資料の基本的な作り方 6. 効果的なプレゼンの進め方 6. 研修参加者が活動する地域の市町村等に対する政策提案 7. 地域課題の最終発表
備考	